

本朝鍛冶考

忠形家以文煅冶

和書門	
一七二二三二	類
二〇二二	函
一	架
二	冊

武備兵法

內閣文庫	
五〇一	和書
九二	架冊
七二三二	號類

內閣文庫	
番號	和 17232
冊數	12 (11)
函號	154 131

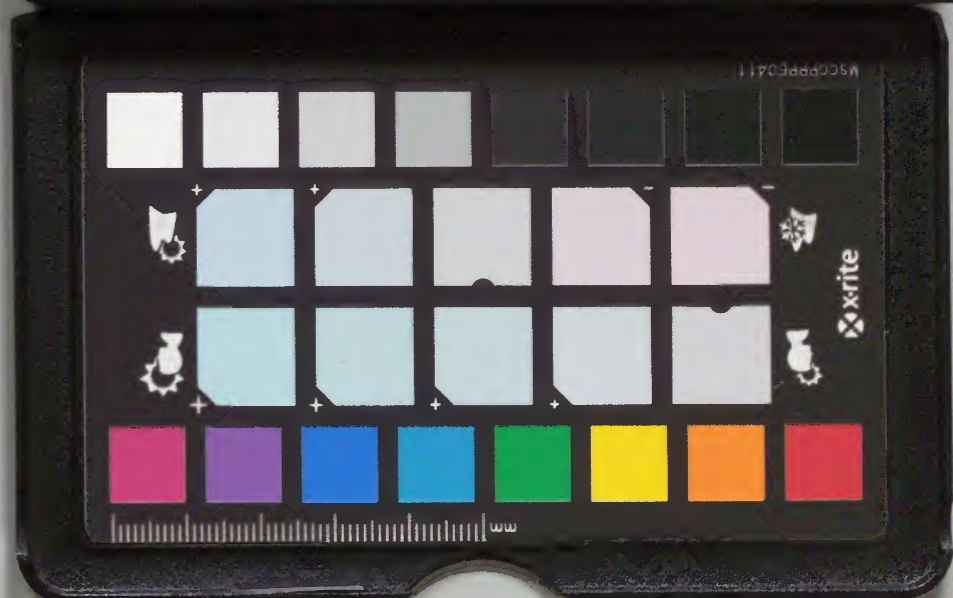


A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



本朝鍛冶考卷之十六

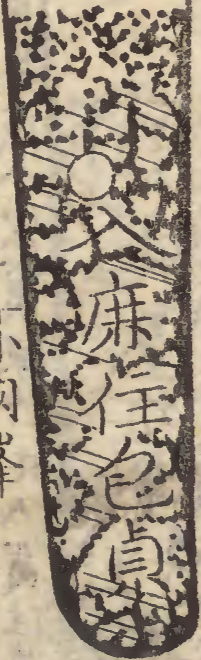
南海道

魚妙撰

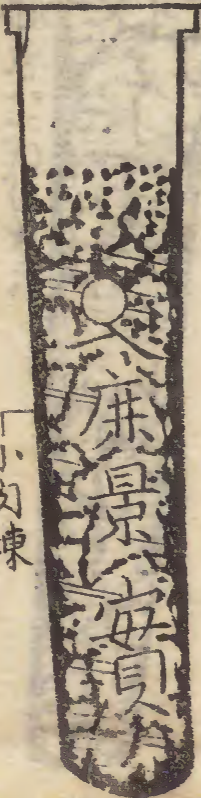
紀伊國

淺草之庫

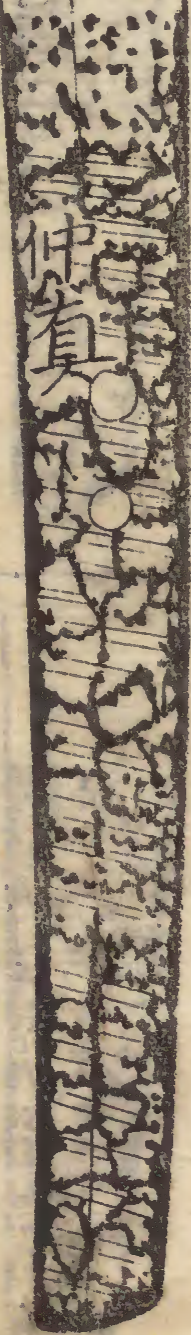
包貞本國大和當國入鹿住世此一旗を入賀物と稱以た力
 象深小似て鍛極目細と銘句深く縵理及乃方多く鈍子丸
 く帯り淺し本宗仲真も大概似て中心の象大川小異者
 實次實經則實實重實行末の外粉川の國次二類乃上事又
 天狗と銘す鍛冶能野小住一數代鍔をうくして世の稱す所也



小肉峯

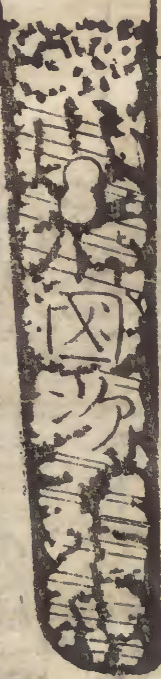


小肉棟



仲直

本草金ノ夫 卷一六
「小肉峯粉川住」



「角山子」



「角峯或入鹿實鉦作氏入賀住藤原三代目氏云」

景宗

貞治中
本宗子

自實

景實子

吉重

天正中熊野住

賀實

永亨中

實可

實

經
初代實次子
建保中茂者

實守

弘安中
實次子

光長

京大和紀伊舞等
皆同人

都而一十九二系圖不見へり

淡路國

淡路房國安重國重次助利國長等其作未見

阿波國

氏吉八貝府太郎と号し數代同銘も有初代嘉元延慶中
又康曆永徳又應永中有云初代大刀の象中心の形備中物不似て
地鐵麗の表鏡乃意波平の風情有て白ひ鏡此すれは若丸物
ハ能く切も也泰吉ハ氏吉より地鐵入割く勇みそ殊備中物
と似て小亀文又是やふ切もといふ言多く聞佩刀と為る物之藤の作
未見師久師次師宗氏房也系圖不見へり又外々 氏善 永正中

泰吉

大永中

吉氏

阿波住人造

有吉

永徳中阿波
海府阿加住

國吉

西字住

「丸山子」



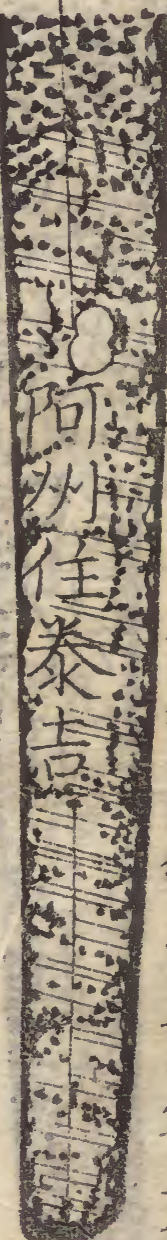
大月殿台考

卷一六

二

水音書藏

此作ノ刀天文頃和泉國堺ニ而三好合戦ニ大功有



「峯肉有」

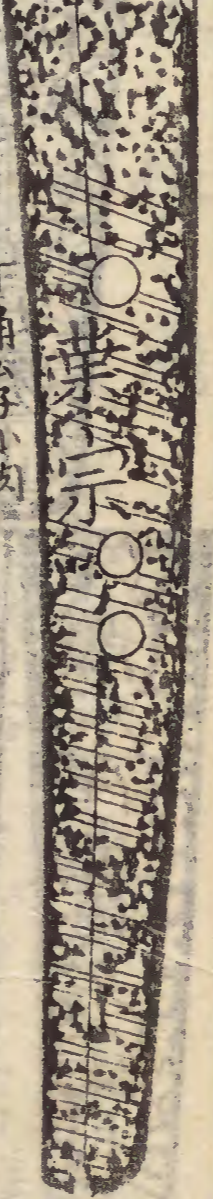
事永キ 故略之



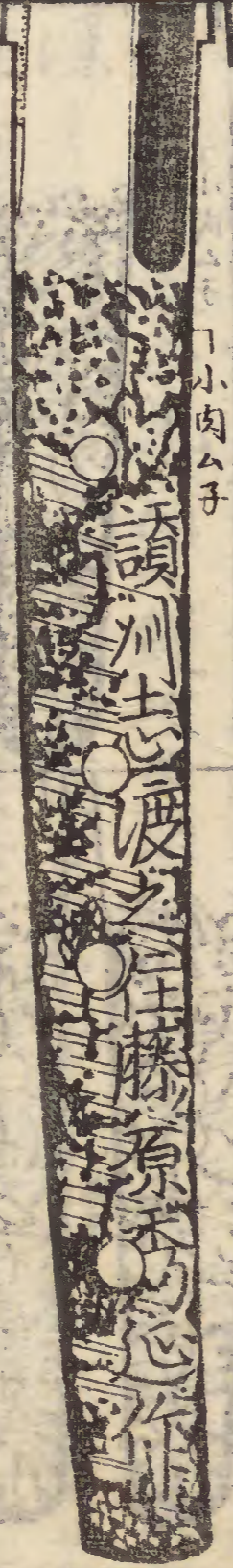
「峯肉アリ」

讚岐國

清房ハ佐渡守共云行利國利父子三人其作未見業宗太刀乃
象備前ノ類セリ或佐渡守弟共云鍛板目鈍子細ク地ノありテ
尋常ノ鈍刀ハ深ク秀延丞乃行志度住景宗尾越住景光香
川住似ノ作也重次崇徳天皇治中山蓮古今銘盡一刀載リ宮城氏云ノ櫛ノ
横ノ鈍リ一刀を見ルニあり



「角ノ子小肉」

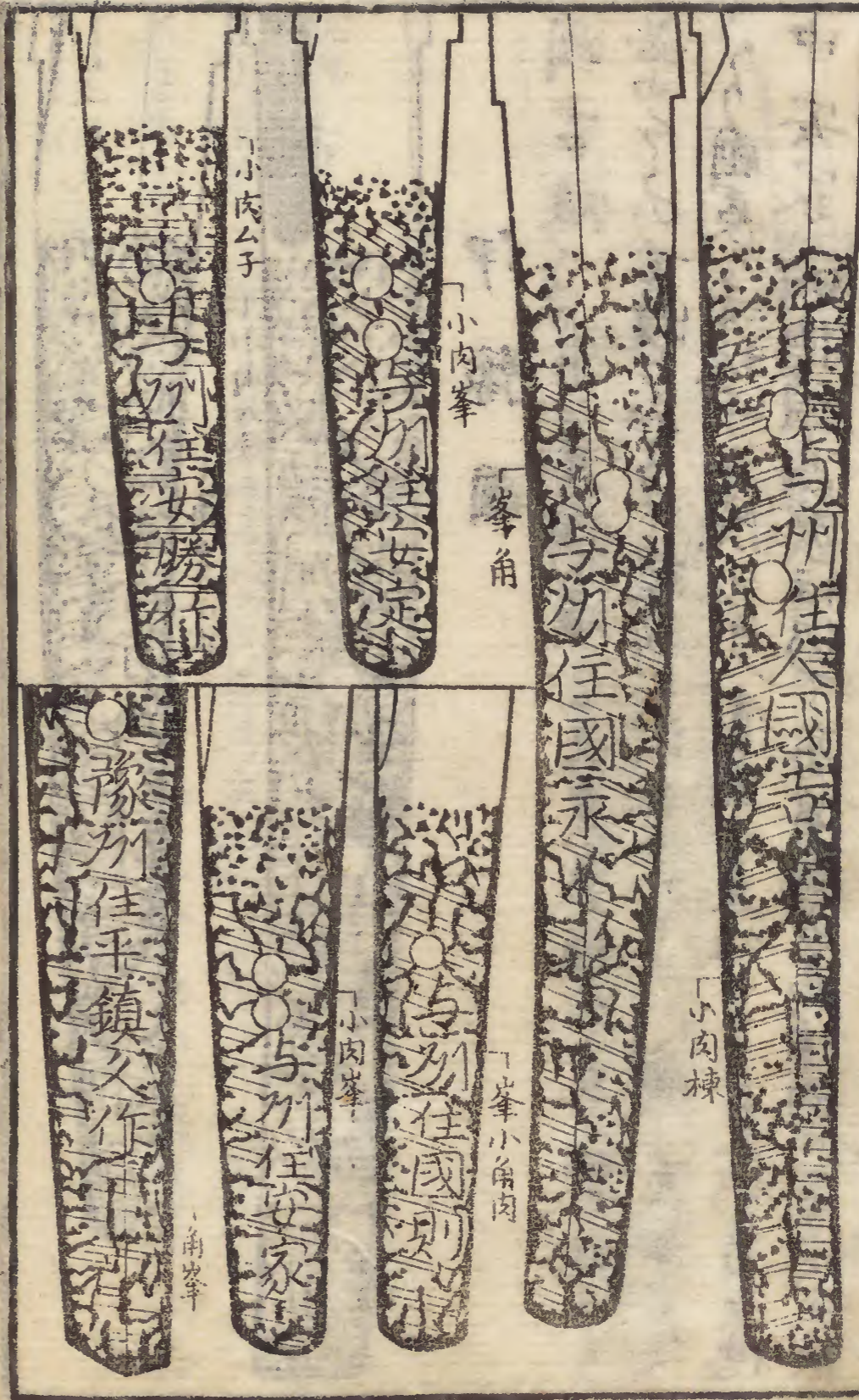


「小肉ノ子」

伊豫國

國吉鍛乃上手ノ其稱舊リ太刀ノ象備前小友ノ似テ鈍子ノ
必ク之ノ而燒ミミテ縵理又灣及もワリ一門廣ク系圖ヤル
リ國長ハ赤坂千手院ノ同人當國ノ未住サも云又仍房至徳
中安家ハ明德頃高濱住仍テ高濱南或高津南共重定應永
中國蕃嘉吉中國吉子鎮久本國豊後高田未住安長ハ永禄安勝

宗長守之も高田同人或初代國吉法号照覺法亮覺といふ其いり



土佐國

吉光ハ大和鍛冶の末流崇光天皇御宇觀應文和延文南朝三
 平中あり五郎左衛門尉と号し或粟田曰吉光弟子共い鍛冶松
 目太刀乃象正光ハ似て縵理又銘細く白ハ深一鈍子杉形小掃り
 深一二代同銘あり吉忠實忠吉抹土初代吉光ハ劣き也為遠
 近房弘安中宗四ハ應永中或實忠を寶忠共記せり其作未見孰
 是あり也

按小吉光と銘一中心の峯角或小肉或圓く崎片山形粟尻形ハ
 小筋違ホの物世ハ多一皆藤原郎作ありと一貴源才持之粟田ハ
 吉光を摸して贋しハ物も又多一當國の父子二代の作と為も世ハ
 有といへも眞贋ハ其物備りありと察知も一正恒正宗
 長光行光貞宗國光國次國宗宗上工尚銘多鍛冶皆推て起さる

兼氏包永義曾則房國安行正國重為遠近房宗國ホの作
未見諸説の云兩ハ系圖小貝（こい）

本朝鍛冶考卷之十六終



本朝鍛冶考卷之十七

筑前國

西海道

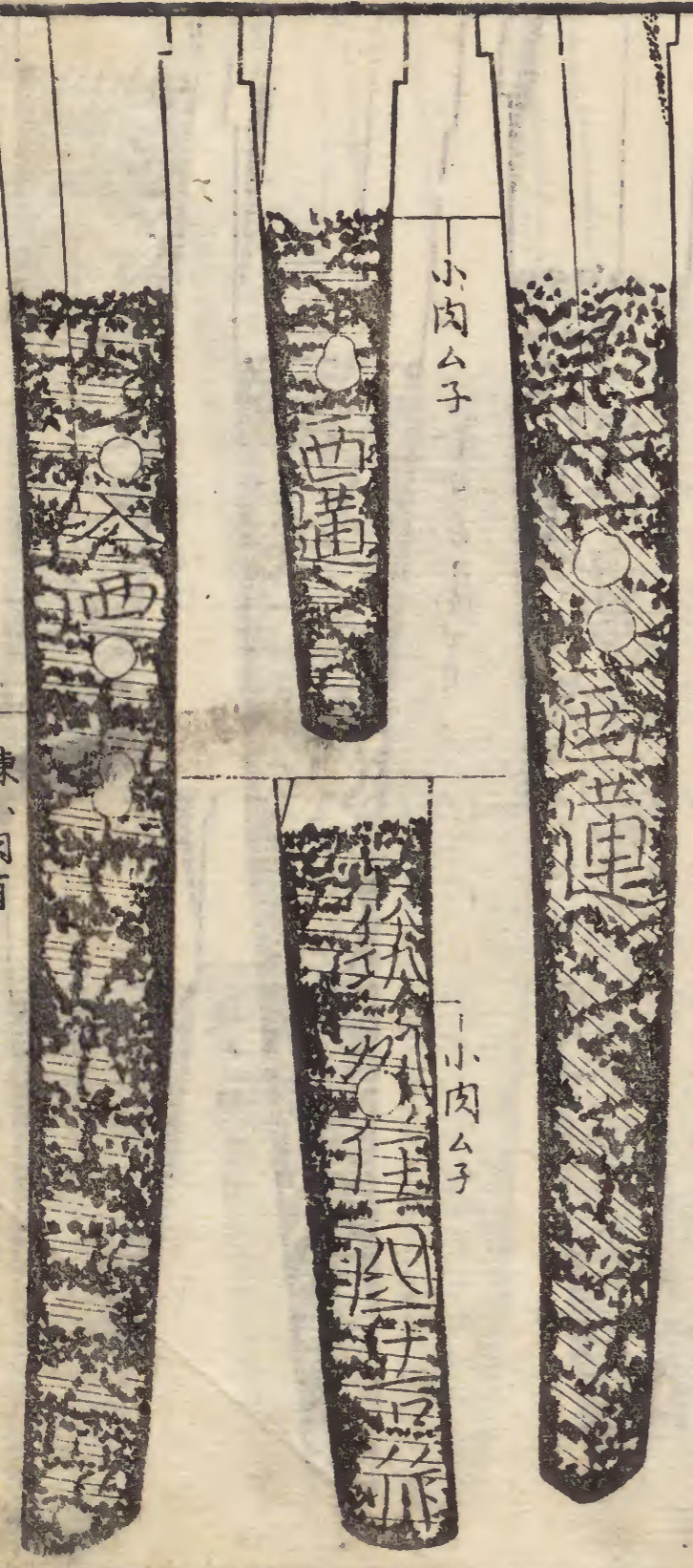
魚妙撰

高綱良西ハ同人小々西蓮々父生國備前（びぜん）ハ西蓮ハ國吉
 同人小々實阿（じつあ）父也太刀の象幅有てかさの厚く地金織（ぢご）ハ錠子
 京物小似て帰（かへ）清（せい）極鑄物も有（あ）緩理（ゆるり）又上手也實阿ハ西蓮ハ
 略似（りやくし）多々（た）多々（た）龜文（かめもん）又も（また）無父子の作ハ少（すく）乾き（か）て足（あ）のれや
 實乾（じつかん）た（た）ふ（ふ）わ（わ）ハ筑紫の風未依（よ）て也或左文字ハ本國相模（さま）ハ
 筑前（ちくぜん）ハ姓（せい）て西蓮ハ寄任（きよとう）すと異説（いせつ）ハ（は）諸説實阿（じつあ）子西蓮孫
 与為（よ）て左東（さとう）ハ即法名源慶（げんけい）ハハ相州（さうしゅう）ハ宗門人小々太刀乃象
 中心の形相別物ハ似て鉞（せん）ハ圖（ず）の如（ごと）又文ハ多分大灣（おほいづみ）ハ又ハ白く
 地湯合（ぢゆが）の心（こゝろ）底ハ貝（かい）見（み）て鏡（かがみ）とせやふ勇（ゆう）みそ多（おほ）銚子（しやうし）ハかり（かり）帰（かへ）り
 深（ふか）く（く）り（り）際（ぎは）ハ玉（たま）と（と）者（もの）刀（や）ハ（は）ふ（ふ）く（く）乃（の）上（かみ）ハ小廣（こひろ）く地景（ぢけい）有（あ）ハ

安吉も父と大方同く地鐵二入濃く青く鏡ハ織ふ白ハ深
く鏡子細く昇りて尖まり貞吉貞貞行ホの二ハ大方同風
情ホテ國弘の作ハ大のこれ鏡ホも白ハ淺くハ二ハ皆中心
の形大方同く吉貞一人ハ棟々鏡の立意有ハ一或大左實名
安吉も号も也按父子同名古今多ク安吉も筑州住と切て裏
小左と銘寸父子同名の證と為も強ハ一寸とハ一ハ此二門の
安藝長門ハ姓兼為ハ系圖ハ見ハ一ハ

高綱ハ盛國ハ父少々金剛兵衛尉盛高祖父中て一流の祖也或盛
國ハ母ハ西ハ妹也又盛高ハ良西孫去云初代ハ盛高太刀ハ象幅
襲共丈夫之地也細く木工肌多ク鏡子丸く仰り深く縵理又多
一ニ王の初代ハお似たり一門の末ハ數十人ハ皆盛高三代ハ風
情あり進國ハ姓と鍛やも多ク豊後ハも末流と云ハ一ハ三池

の利延陸奥乃寶壽も来住ハ一髪切膝丸造りハ實次も
土山と云ハも住ハ一共ハ一古ハ太宰府と云ハ一今
見聞セたりハ一もの程多かりと云ハ由國ハ治ス也

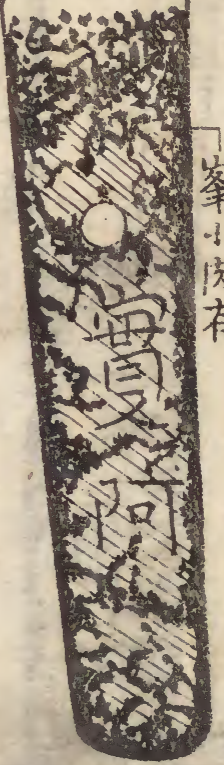


小肉ム子

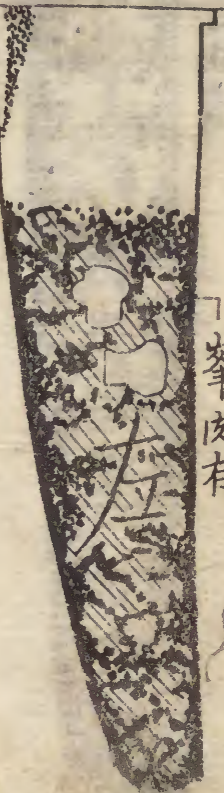
小肉ム子

棟小肉有

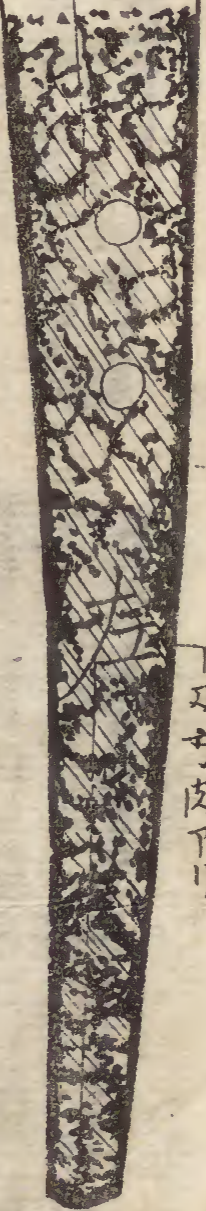
「峯小肉有



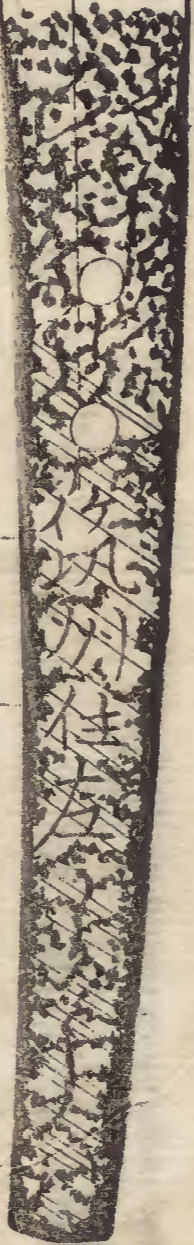
「峯肉有



「双方肉アリ



「峯及方肉アリ



「切

「峯及方肉有

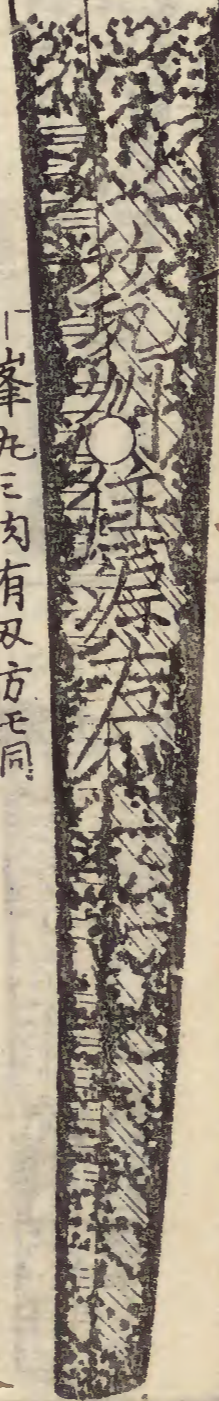


棟及方肉アリ



「ウニ 筑物住

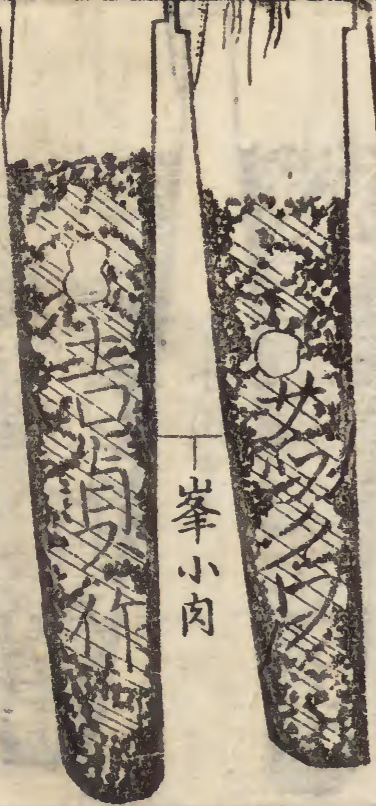
「峯丸三肉有双方毛同



「小肉ム子



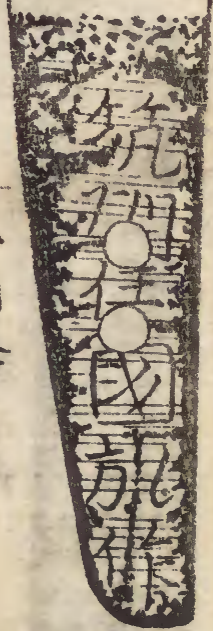
「峯小肉



「小肉ム子



本朝鍛冶考 卷十七 三



小肉峯



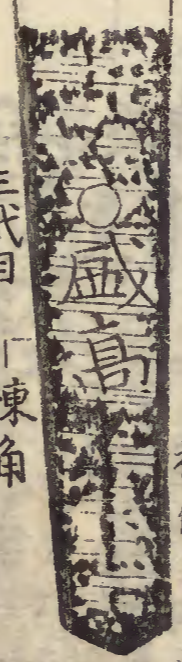
西蓮西華 實阿作

之吉作 國高作

角ム子



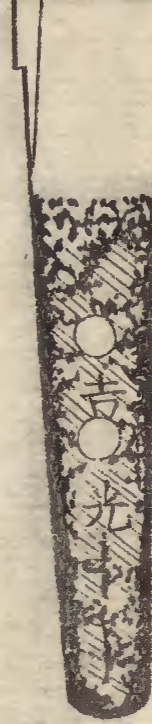
初代



三代目 棟角



峯小肉有

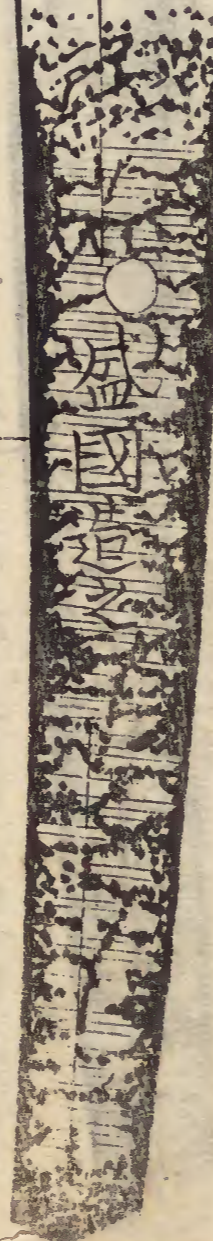
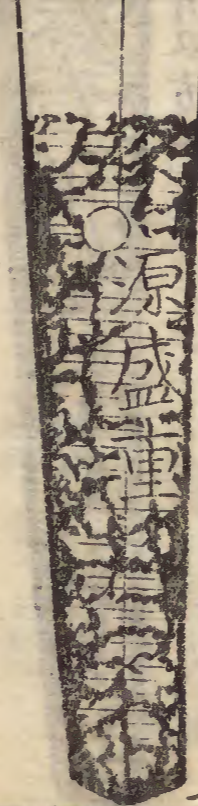


筑州作 安吉作

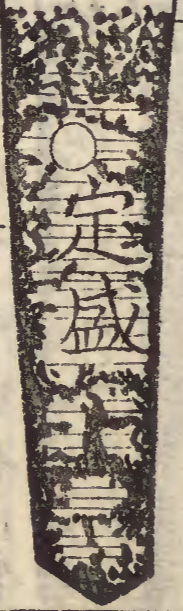


角ム子

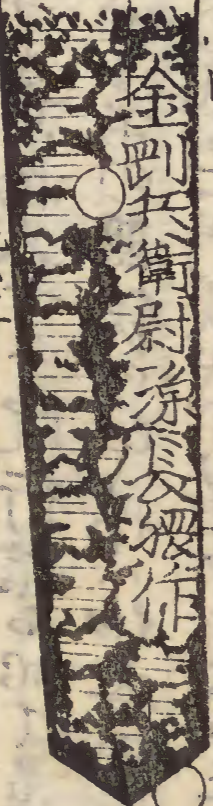
二代目



角ム子

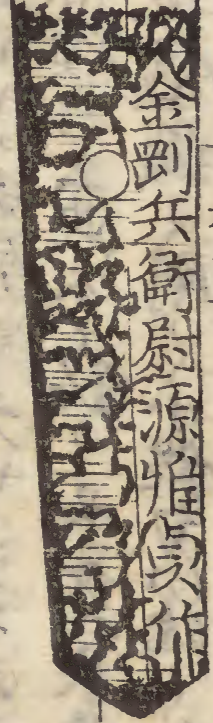


小肉峯



小肉ム子

ウラ 永正十二年八月二



九ム子

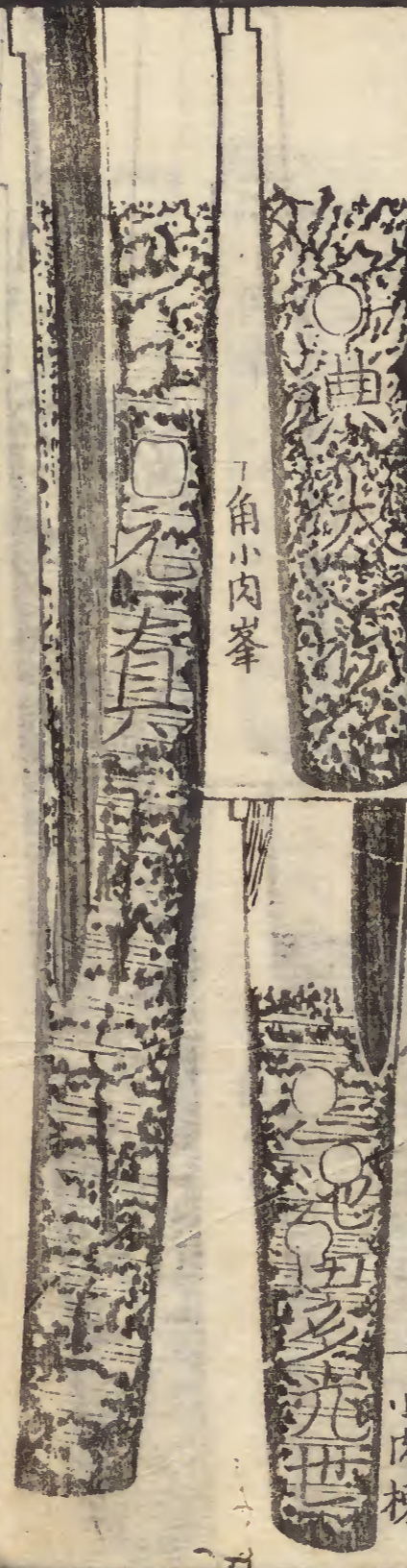
ウラ 永正七年二月日

源盛秀作 盛安家盛源盛包作 教永

本朝鍛冶考 卷十七 四 水音舎藏

筑後國

三池元祖正世八和銅中光世久又共云典太法号元真又承
 承曆永保項共云典太と銘一又長二尺五寸余喜浦造鎬高く
 紋縵理及地鐵織く剛く小銘白ひ涼く梨子肌粟田口久國の風
 情有鈍子も京物又千手院行信也似て尋常乃上工と誠き
 物也今圖する所の無銘のひ作伯耆の安綱の肌也類く二体ハ
 筑紫鍛冶の風也一門數代同銘多く大石左の門人小も末流多し



角小肉峯

小肉棟

小肉角

又長二尺六寸鉏元一才五リニ中心峯角小肉崎良

小肉峯

小肉峯

鈍子三月スク又ハキカケウワリ地膚皆上品

小肉峯

寄藝ハ教永教光利延光世長門の頭義頭久等嘉吉文安
 明應の前後當國三池の末流左安吉門人と成て往來せし
 者多し去れ共皆頭國乃上も出るものいりしもの

豊前國

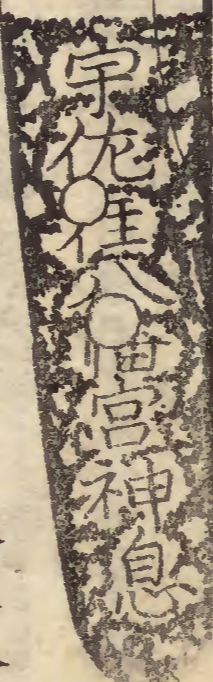
神息又神足小作ると云り數不るると云其心發物を
 未見家藏の中心圖一品有て其作の趣意未詳云三
 池の肌有物と或其肌兩の柳小似りや又伯耆の安經氏
 情云或 孝謙天皇御宇天平勝寶の作と 平城天皇御宇
 大同の作を云る 元明天皇御宇和銅中の人少百歳余
 壽のくといふる宜也と云世云 平城天皇第七皇子御宇
 刀ハ長銘宇佐八幡宮神息と有和銅より大同とい百余年
 世長壽のくといふ強へる云り彼宮記と合せ考へし神
 来神足寶幢皆同人次數代異人有る可怪哉



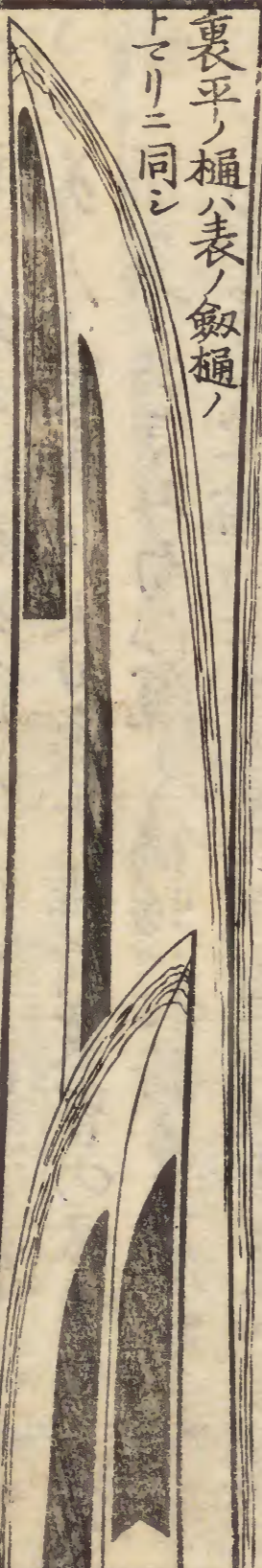
「角小肉峯」

「峯肉有」

「又長一尺三寸五分柄實三寸六分及七分」

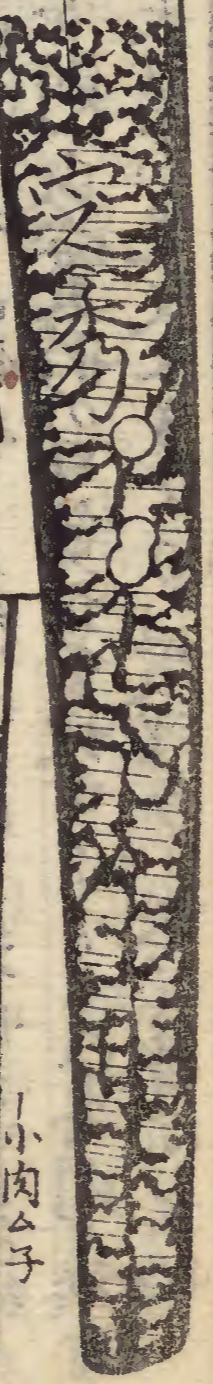


裏平ノ樋ハ表ノ劔樋ノ
 トナリニ同シ



宇佐八幡宮神息圖說曰此神劔雖當宮之寶物既失没而沈
 海中不圖嬰漁夫之網元和三年於石州銀山真平得焉以
 重奉 神納畢 按之非舊物小似て可惜也然其再顯又神

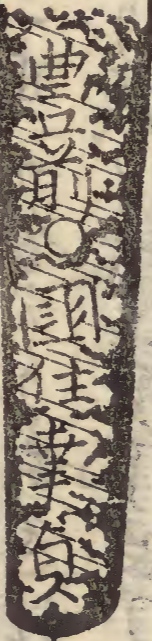
定秀の山學頭賢正坊或賢聖房源正房共 聖武天皇
 御宇天平中の人共又 三条天皇御宇長和中共 高倉天皇
 御宇承安の工共云紀新太夫行平為師則承安治承文治建久
 の人成一行平の古代別人同名もて古行平の師と牽合る
 る誤為らん定秀の作太刀象古備前粟田の風情有る地鐵
 織と鏡多くいとみ白く深く鑄物に紀新太夫形物と誓ふ事
 なく又事之絶倫の上工也豊後國僧定秀と銘す物古
 きと押形も予心あえり二刀僧定秀と三字也彼彦山
 ハ筑豊の二國の跨り一山座至の配下として國制の事
 小預すと又彦山の豊前の山と世の稱すと而も舊しり
 故と豊前の工と為と雖生國豊後の人為又行平師
 弟の故豊後僧と銘すもの其故未詳



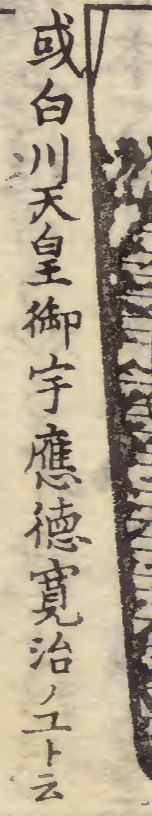
「角峯」

「角峯小肉」

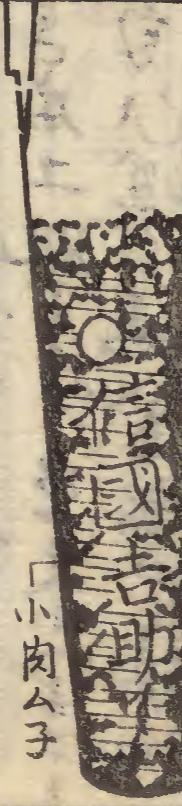
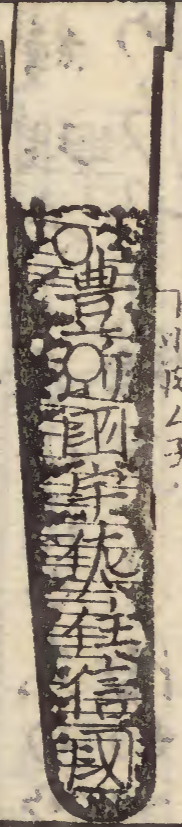
「小肉ム子」



「小肉ム子」



或白川天皇御宇應徳寛治ノ工ト云

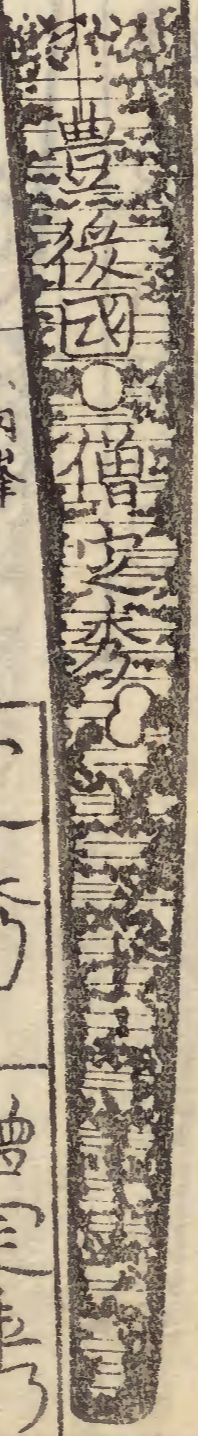


「小肉ム子」

有平守重行真安光正恒家重寶幢剛國神来神足
 助近了戒定光正應安の時行亦其作亦見物多し或
 月山末流當國奉任す者も有るなり

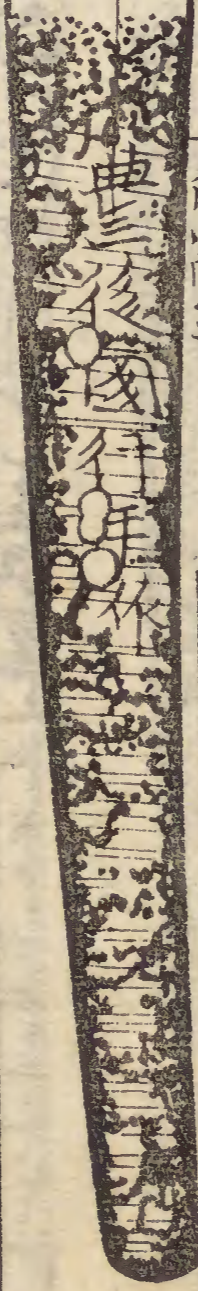
豊後國

行平、定秀、法師、門人、紀新、方夫、身、以、此、人、の、り、系、圖、
諸、況、奇、様、甚、多、同、銘、新、古、二、人、を、一、又、大、和、の、同、銘、
と、同、人、の、り、の、最、後、の、二、人、を、お、混、し、て、の、奇、況、今、分、明、
あ、ら、ま、し、る、事、か、し、く、又、無、益、の、事、を、行、平、作、太、刀、の、象、
三、つ、峯、多、く、遊、近、庵、峯、も、造、る、銀、板、目、織、小、亀、文、
縵、理、共、く、又、の、肉、白、糸、の、め、と、本、工、肌、多、く、重、文、小、つ、き、て、
わ、ら、り、り、銀、多、く、こ、ゆ、か、ふ、匂、ひ、深、く、地、金、朗、く、鑄、物、
長、二、寸、八、九、分、より、長、き、ハ、稀、也、櫃、く、り、か、ら、多、く、鏡、子、形、
拂、り、淺、く、方、土、有、風、品、丁、日、本、一、等、の、徳、銘、も、有、正、恒、為、恒、
無、平、も、同、凡、し、て、正、恒、心、と、又、行、平、小、同、一、為、恒、ハ、毒、豆、の、縵、理、
み、多、く、安、則、ハ、實、形、の、目、貫、穴、有、故、世、より、さ、り、安、則、稱、す、
此、一、家、太、刀、小、亀、文、又、多、く、刀、の、縵、理、多、く、銀、ハ、皆、同、意、也、



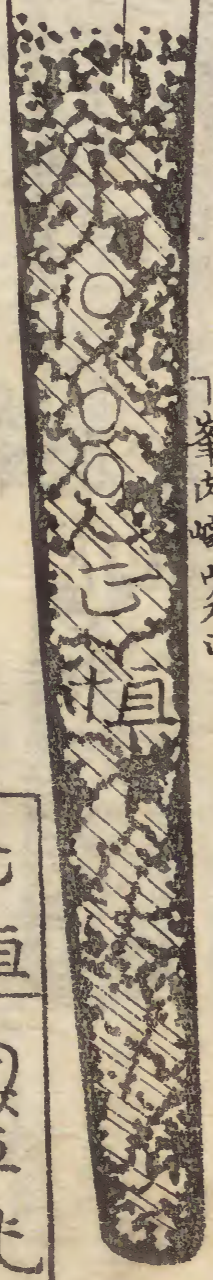
「小肉峯」
角小肉合子

定秀 僧定秀

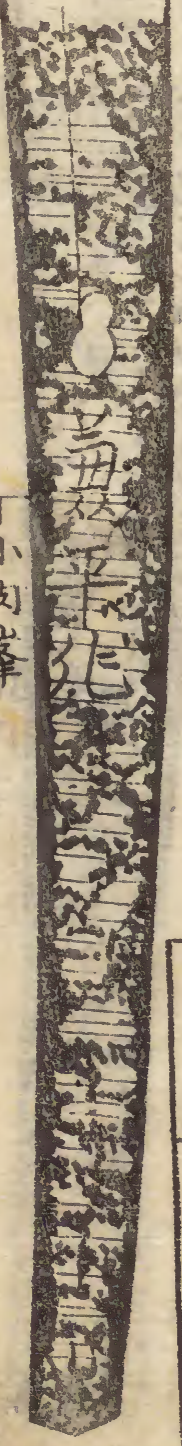


豊後國行平作 豊後國行手作 豊後國行手作

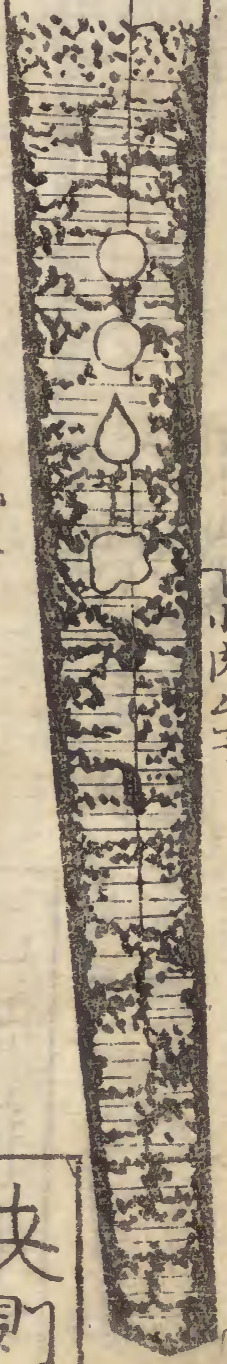
「峯肉崎ウスシ」



正恒 無平化

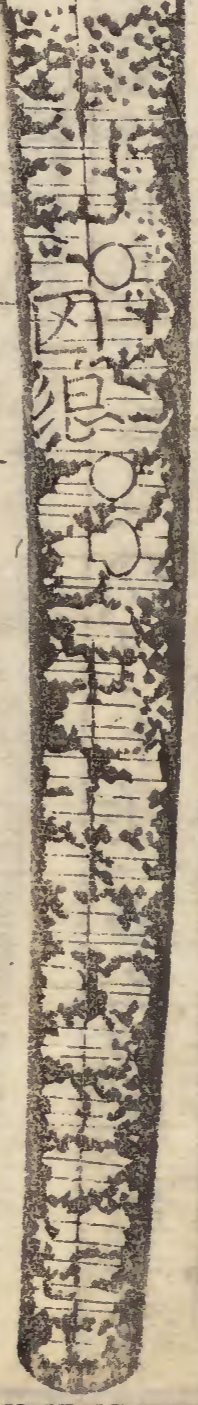
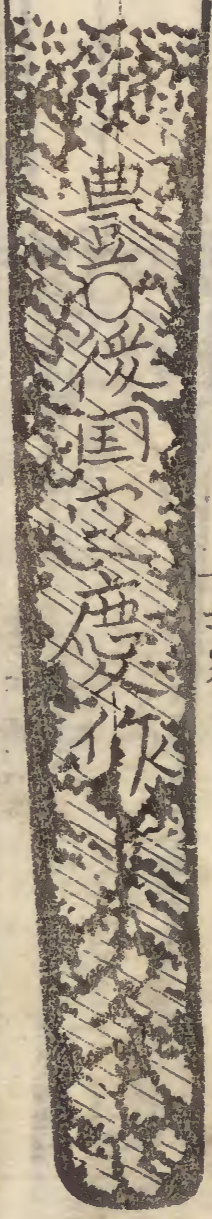


「小肉峯」



「丸峯」

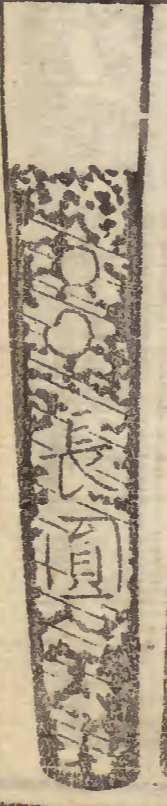
丸則



「小肉峯」

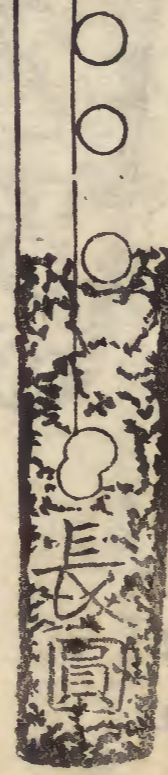


函 迷 〇 囚 靛 〇 〇



「上ケ今ハ角峯」

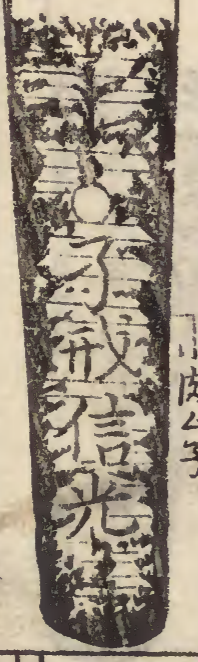
「是ヨリウフ節不分明」



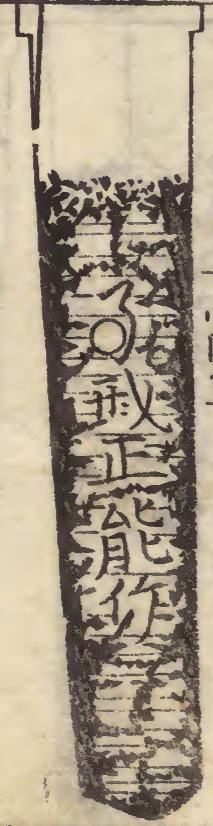
長圓大和筑前筑後陸奥當國皆同人予二乃以見其作三糸の宗近小似て三池の肌を鏡子大和物類して上手也



「小肉峯」

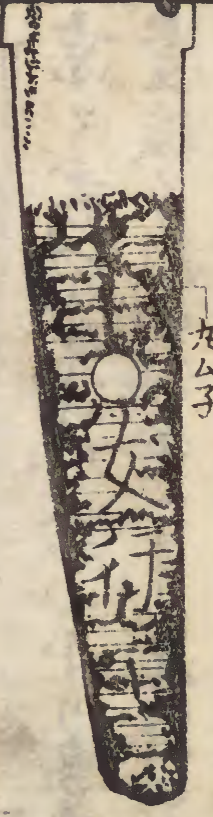


「小肉公子」

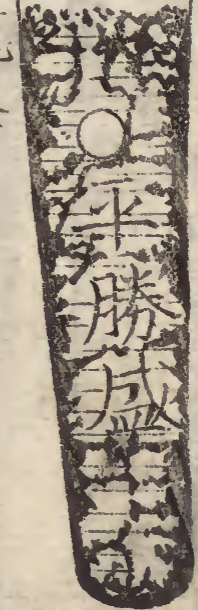


「小肉公子」

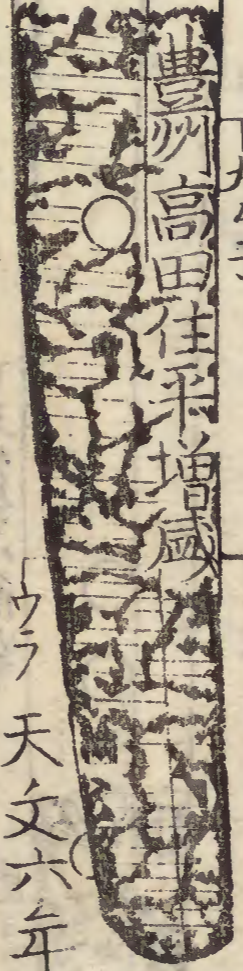
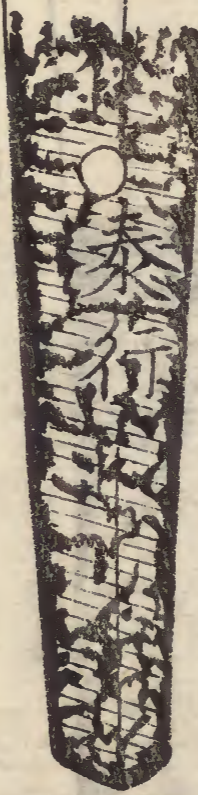
京了戒定光筑紫小下り豊前の宇佐當國小も住す小依て豊後了形の稱有く一志縁の筑紫信國と号すハ筑前小多



丸ム子

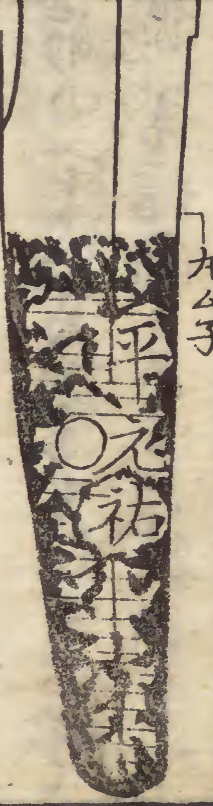


丸峯

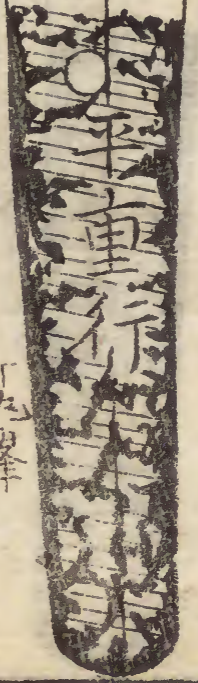


丸ム子

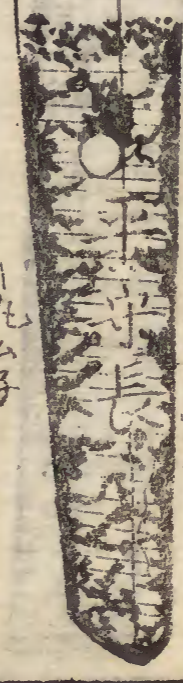
ウラ 天文六年丁酉二月日



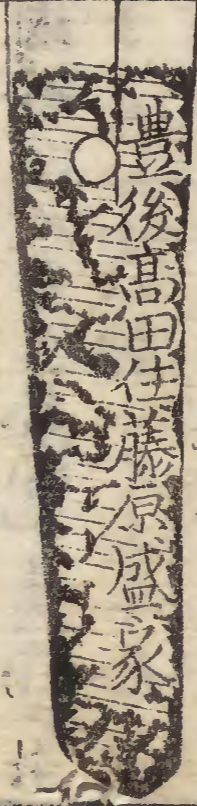
丸ム子



丸峯



丸ム子



峯小肉

今八角スリタル也



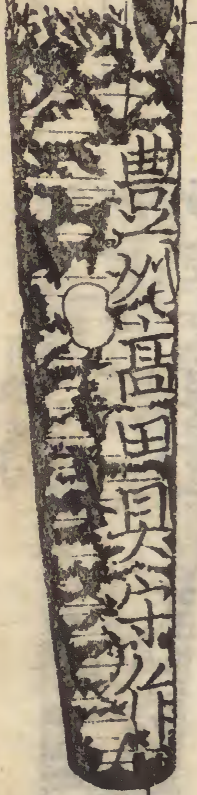
嘉吉文安頃

「永正天文頃

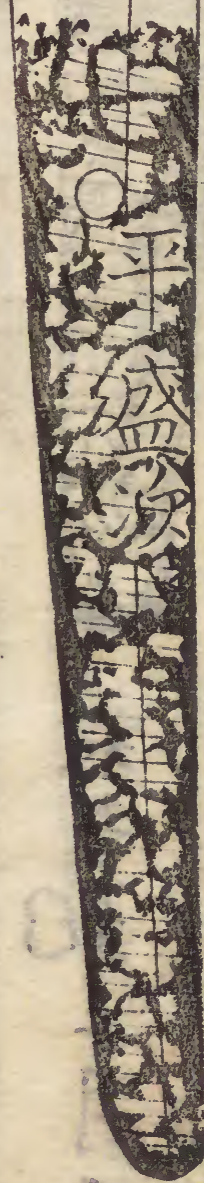
系圖外
天文頃



丸峯



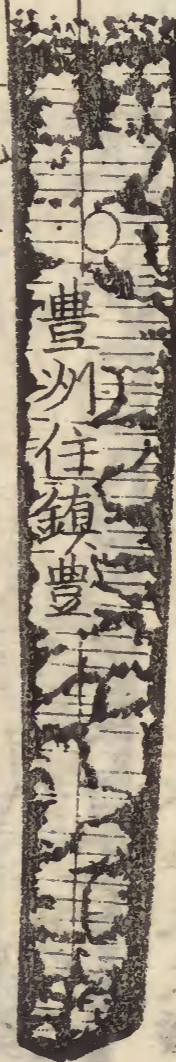
ウラ 永正三年二月日



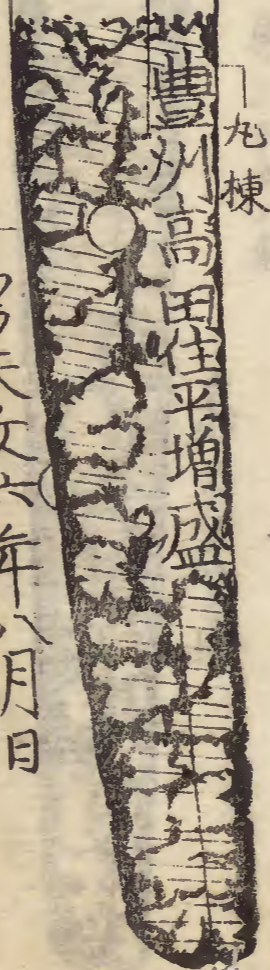
「九ム子」



「九峯」

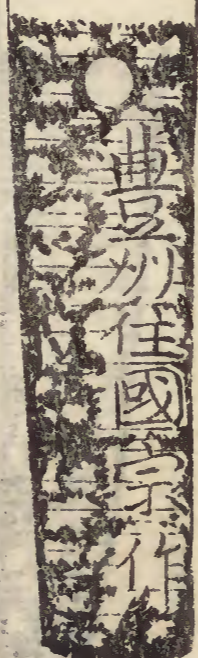


「九ム子」

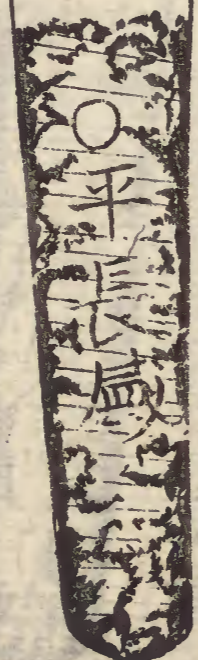


「九棟」

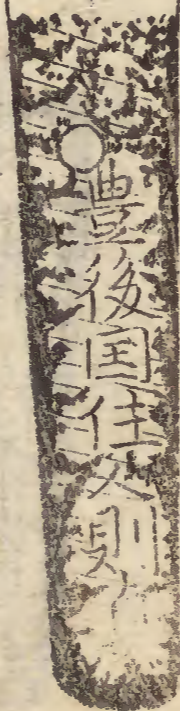
「ウラ天文六年八月日」



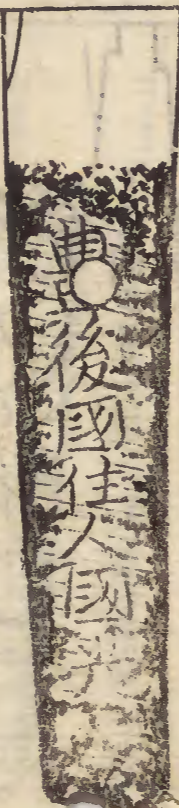
「角ム子」



「小肉峯」

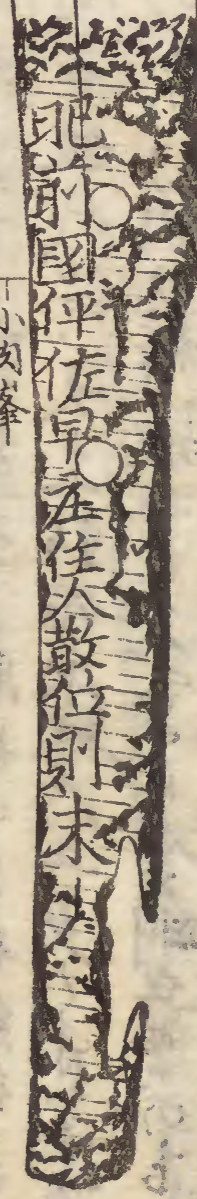


「肉峯」



高田鍛冶の友先友行の始とす按て安則安先等の系流をん
平姓長盛以下數十人應安康永頃より天文永禄天正小
正の佩刀とありき物甚多く藤姓の負行統行義行實行
等の同名数代あり天文弘治永禄の工多し貞子孫慶長
前後のものハ新刀辨疑やもえり金剛兵衛の末當國
住す者數十人實は行平々余光の國と云きもの也

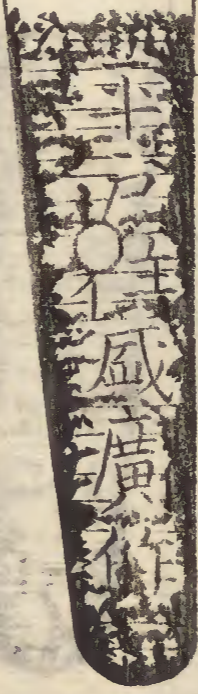
肥前國



小肉峯

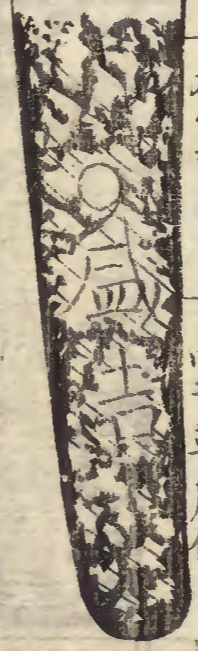


小肉峯

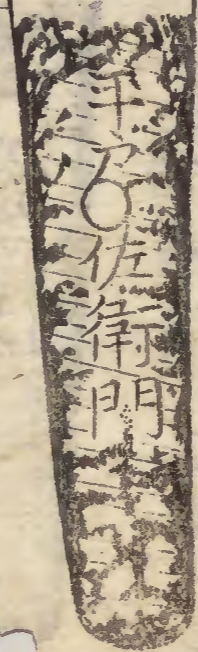


九公子

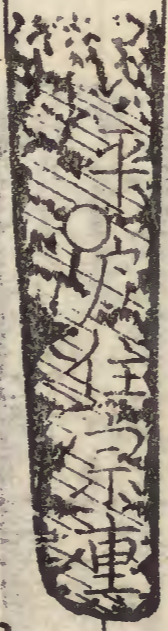
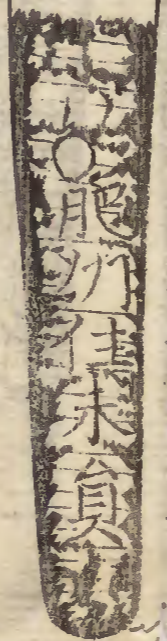
ウフ平戸住



鈔不分明廣キ桶アリ鏡子以下見事也三池ノ十ルニ當國不任才と云



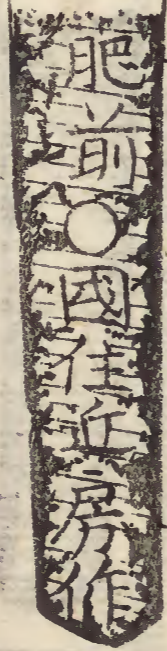
小肉公子



小肉峯

ウフ應永坊八年二月日

ウフ應永〇世一二月日



小肉峯



末秀未貞未久貞秀治吉光恒重貞重延有國重則貞清國進盛高盛次氏成貞宗國助久保國久伊賀守道秀父天文頃也又伊豫掾宗次初代忠吉初代文祿慶長間小下新刀辯疑小見くり

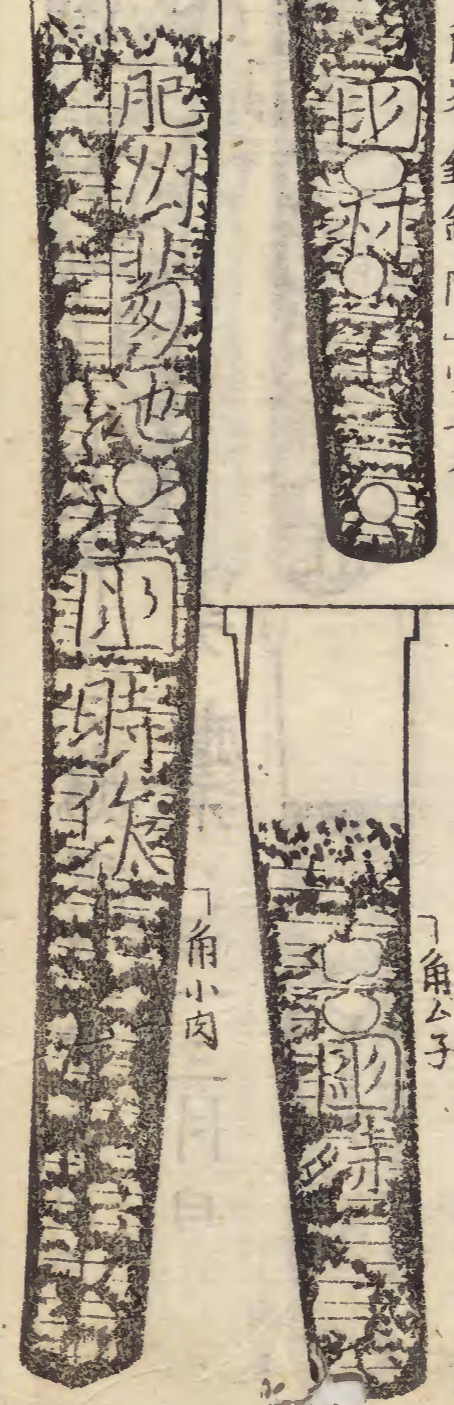
肥後國

延壽弘村本國大和京末國俊妹尊也子國村延壽太郎号或兼池東共云太刀の象来一門一白一カハ三ツ峯と有鍛証目

廣ひろ縵ま理り又の上手鏡細く白ひ深し地膚締りて青くわくし
杉形小飾り少し深き方也銘の文字數國所切も二字もを
國吉國時國綱國光玉春國信國正國經國友國房國資
國宗等皆似し作て國村を勝せりと爲のそ又末の延
壽と稱する物よと云ふ所同名少く應永正長永亨後教十
人元龜天心と皆柔池物と稱し佩刀と爲一と多し

角峯銘 組際十字モ有

角△子



角小肉



本朝録... 卷十一... 肥州菊池往國光

肥州菊池往國光

角峯

國經

角峯

肥後國水方郡

肥後國時未行吉作

國信 國經 國吉 國銀

ウニ人吉住義田雅樂助

國光

肥州菊池往國光

角峯

國經

行吉作

角峯

肥州菊池往國光

角峯

包平

角小勾

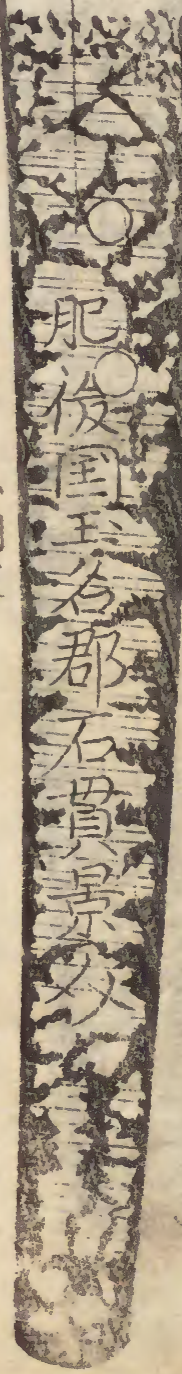
包平

角小勾

肥州菊池往國明

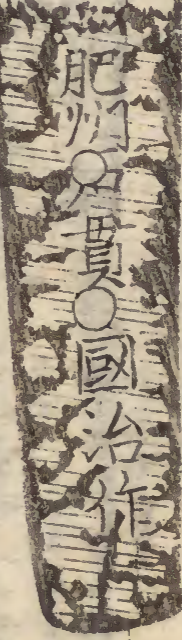
角小勾

本朝録台号 卷十一 肥州菊池往國明



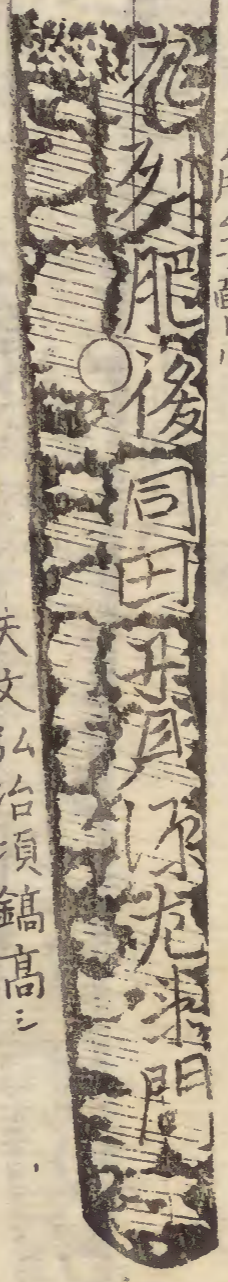
凡七子

小肉公子



ウラ永正二十二年十月吉日
諸書系圖 凡二十一

一角公子面トル



天文弘治頃 高

公平建徳文中天授弘和中菊池氏勤王勇武其名猶あり
彼弘村父子大和の産して當國小下る關西將軍供奉す
菊池氏の招應するの門數十人永正天文の後流多系圖の外猶數百あり

石貫同田貫一門又多同田貫八上野介左馬介治兵衛又八

右源(源左衛門兵部少)天文前後清國正国正受文祿加藤氏の鍛冶

日向國

當國ハ皇孫尊降臨の皇都神武天皇御宇天真浦より
上代ハ鍛部多かりと推し知し世遙く後き後一条天皇
御宇筑後国月西末住其子負行亦其作未見栗田久国明人
久吉大隅當小住と云又吉人兼次兼重通吉盛尚源貞家隆
國廣實正久次光重秀吉實忠兼榮國吉實昌亦皆應
永より天文文祿中薩隅往來せし者多

大隅國

久國ハ栗田口國友子當國下向の藤二郎養子必言
もの久吉久國父子の元國上向重包重鑑高隈住重

包重近儀重末次宗成右任貞清日薩往末應永天正間也

薩摩國

正國ハ一条天皇御劔奉造と云生國大和後當國住と云太刀
象幅有て反高く地鐵青黒く板目鍛大木工肌有て鏡細
白く深く伯耆の安綱の位の卑さめく保壽の風情も有て
緩理又多一行仁行光と同人安満ハ重文又上手行満安徳
緩理上手也助近ハ國近共銘と波平元祖とす説多波
平一門新古數百千工其甲乙有て大段三爰有其一ハ正國
行安行仁ホリと助近行久安満ハ正國風情残まり延元南朝
正平中應永文明永正前後備前の其時代の太刀又文鍛共
り色り水正後今ハ及んて長谷部國重の鏡似て卑く地
鐵潤ハり色を失ふ如く志れも鍛冶の術諸國大小表へ

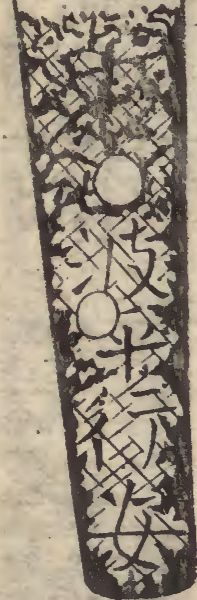
應仁より天正の間ハ數十名とす然れ共備前と州と常陸
ハ小揃き物多し其ハ應永前後備前刀に似るを勝きりとせん
ものハ正國より行安以下の六ハ後同銘多し系圖疑ハる
物と諸統の取捨有るをみるべし



「角峯小肉」

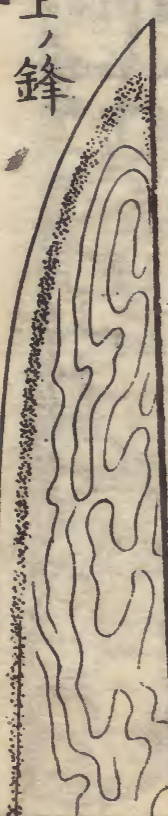


「角ム子」



「角ム子」

「延壽ノ如シ 中心サキ切」



上ノ鋒





角小肉公子

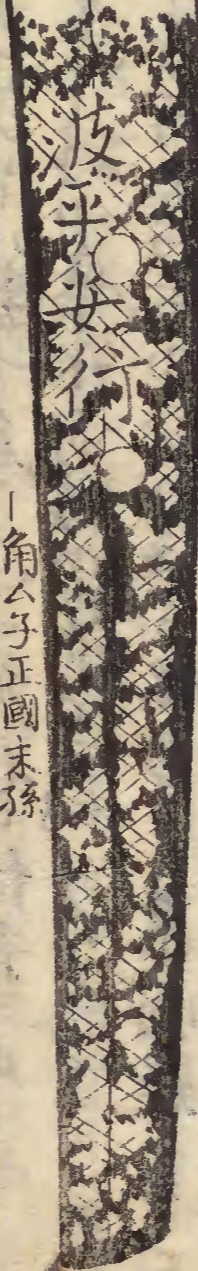


角小肉



行安鋒

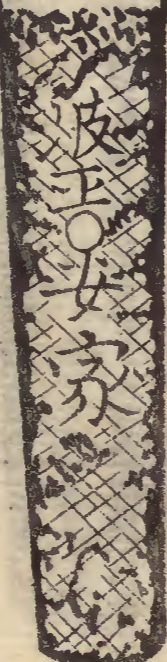
角峯



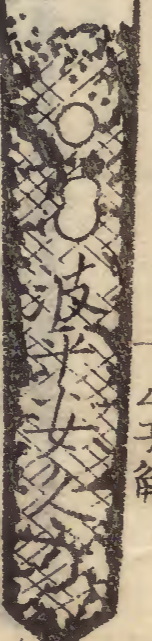
角公子正國末孫



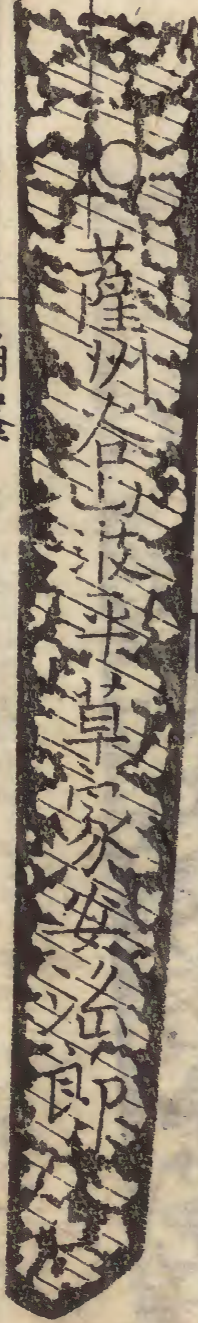
角公子鉦筋邊毛有



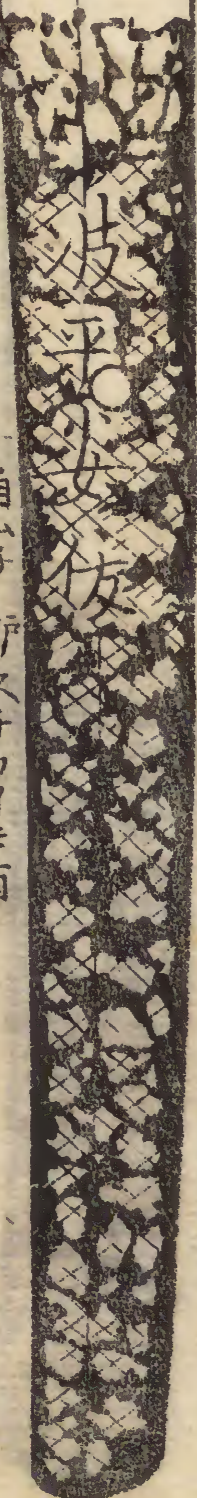
角峯或正和嘉曆別人トス按同人ナラン
角公子



角公子



角峯



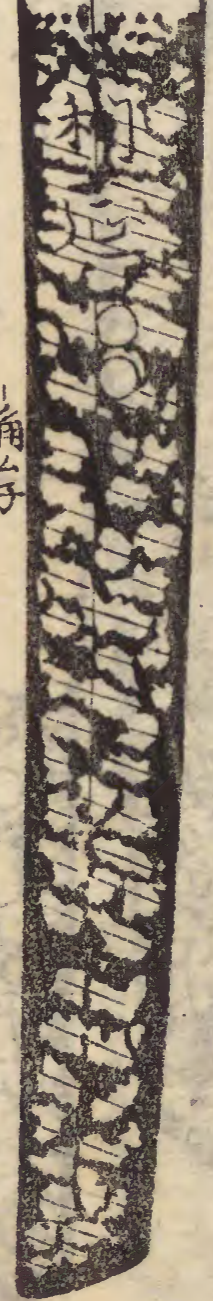
角公子鉦ノチカイモ有

按行安安行ハ代々同銘
十人有之見ヘシ

「角ム子」



ウラ只月〇〇彼ハ庄中日



「角ム子」



「角峯」 「長和ノ作ニラス 元徳正慶」



「角ム子」



「角ム子」

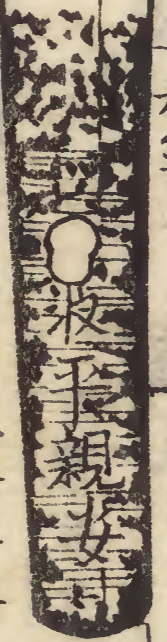
「小肉」



「角ム子」

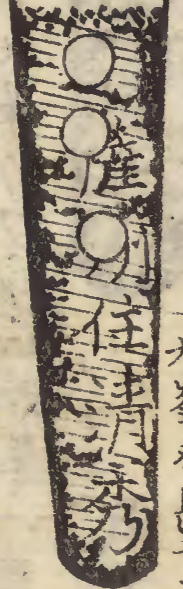


「角峯」

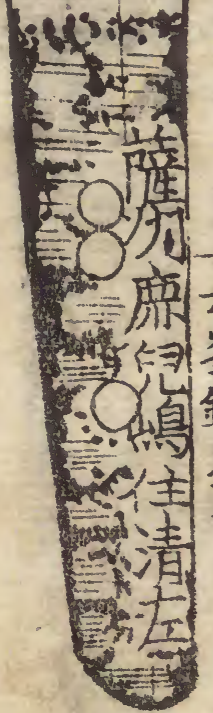


「九ム子」

ウラ 應永二十年〇八月十日



「九峯双長七寸」



「九峯鎬タカシ」

〇〇弘治二年八月日

本朝鍛冶考卷之十七終

九峯ウラノ水正五年八月日 右二刀同人十八己

○波平貞女

ウラニ 天文七年二月日

「峯丸」

○波平安世

波○平安朝

○波平女作波平○安玉

波平○吉安

薩州○波平安明

薩州往重吉○波平吉光

波平安家

薩州住安之

本朝鍛冶考卷之十七終

目録

